

万座毛周辺活性化施設



外観

恩納村が誇る景勝地 万座毛に建てられた「万座毛周辺活性化施設」。何度でも訪れたい万座毛を実現し、雇用拡充・地元農水産物の活用などにより地域活性化に資することを目的として整備された。



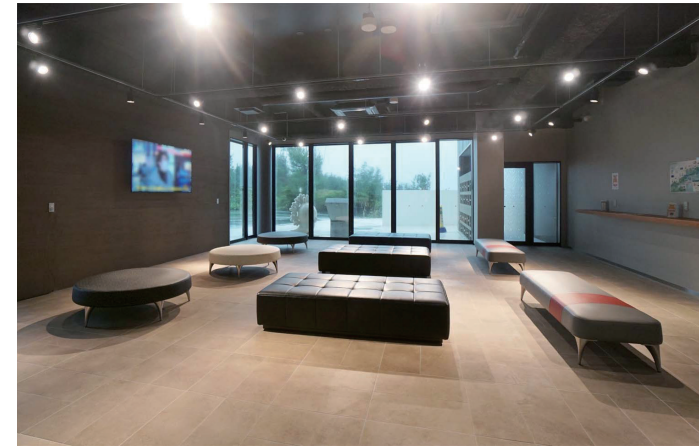
外観(空撮)

施設建設前と比して、駐車スペースも約3倍になり大型バスも多く利用できるようになった。絶景のロケーションからウェディングの撮影スポットにもなり、海外からも多くの外国人が訪れる。



ホール

吹き抜けになった中央ホール。1Fは地域特産品コーナー、2Fは沖縄名物が楽しめる飲食コーナーなどを設け、休憩・買物・食事とトイレ利用はもとより、ゆっくり滞在できる施設となっている。



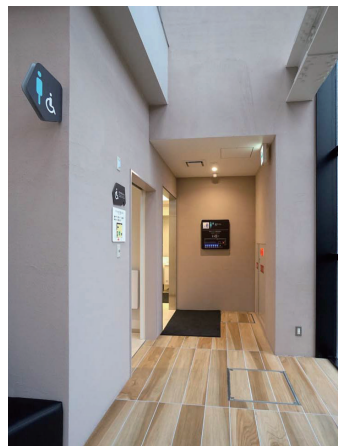
休憩スペース

改修前の施設にはなかった、休憩スペースを新設。散策や旅の間にゆったりとフレッシュできる空間となっている。



トイレモール

トイレモールには、待ち合わせ用のベンチを設置。館内はどこでも思い思いに休憩できるよう、さまざまな場所にベンチを設置している。



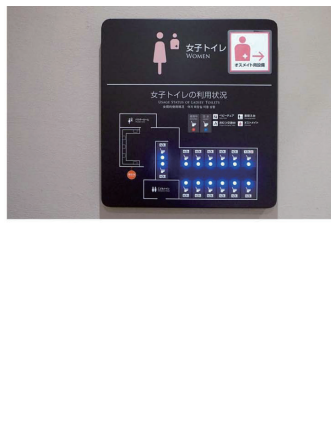
トイレサイン①



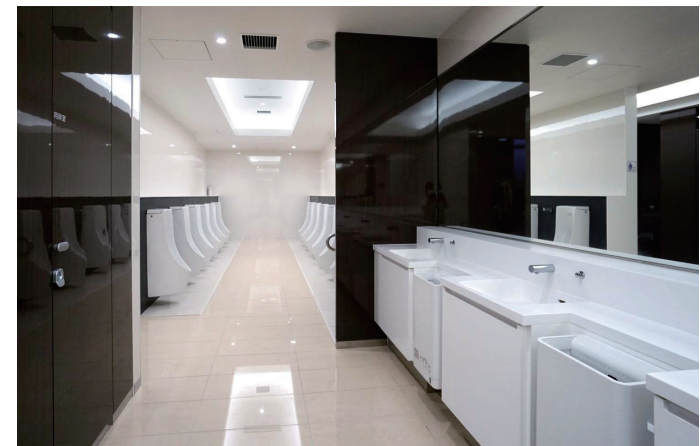
男女トイレと多機能トイレがひと目でわかるように突き出したサインを設置。万座毛の人気スポットである『象』に似た岩をイメージし、モチーフに取り込んだ。



トイレサイン②



トイレ入口には、ブースの空き状況と設備がひと目でわかるモニターを設置。さらに、一般トイレ内にオストメイト対応器具があることもわかりやすく表示している。



男性トイレ 全体

レイアウトは、混雑対策として空き状況がわかりやすいよう直線に配置。クリーンドライはカウンターの間に設置し水垂れ防止をしている。



男性トイレ
小便器コーナー



小さなお子様連れに配慮して、小便器コーナーの最奥に幼児用小便器を左右2ヶ所設置。また、小便器横に傘や杖などをかけることができるフックを設け、観光客への荷物配慮がなされている。



男性トイレ 大便器ブース



お子様連れに配慮して、すべてのブースにベビーチェアを設置。また、性的マイノリティの利用にも考慮し、汚物入れも全ブースに設置。ブースの広さについては、近隣の大学院におけるトイレ寸法を参考に検討した。

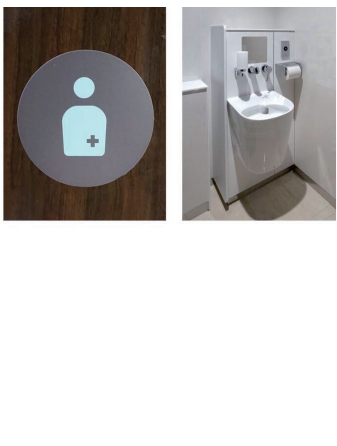


男性トイレ 大便器ブース

訪日外国人などに配慮し、全ブースに温水洗浄便座を設置。さらに、トイレの使い方を5ヶ国語で案内している。ウォシュレットのリモコンは、災害時の活用を考慮し、発電タイプを採用している。



男性トイレ
ひろびろブース



ひろびろブースには、オストメイトに配慮してコンパクトオストメイトパックを設置。だれでもトイレ内にオストメイトの設備を設置せず、一般トイレに設けることで機能分散を図っている。

万座毛周辺活性化施設



女性トイレ 洗面コーナー

大きな鏡を採用した、開放的な洗面コーナー。男性トイレ同様クリーンドライはカウンターの間に設置し、清掃性に配慮している。



女性トイレ 大便器コーナー

旧施設トイレの雰囲気(暗い・汚い・臭い)を払しょくするため、照明を明るくし、ブース材にも艶があるものを選定。落ち着きのある、清潔感が感じられる空間となっている。



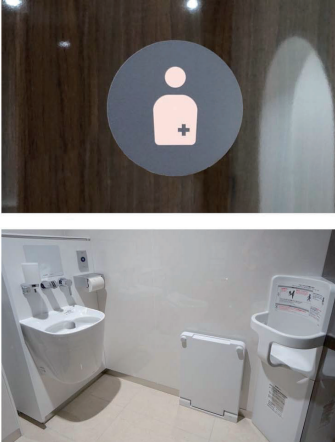
ベビーコーナー



随所にベビーカー置き場を設け、空間に余裕をもたせたベビーコーナー。おむつ交換と授乳室をしっかりと分け、衛生的で心地よく使いやすい。授乳室は鍵付きの個室となっており、安全面にも配慮されている。



女性トイレ ひろびろブース



男性トイレ同様、ひろびろブースにコンパクトオストメイトパックを設置。だれでもトイレに設置せず、一般トイレに設けることで機能分散を図っている。



女性トイレ パウダールーム

リゾートムードあふれる空間に、アイランド型の洗面コーナーを囲むように、スタンディングタイプのパウダーコーナーを設置。特にウェディング撮影前の念入りなお化粧直しができるよう、デザインにもこだわった。



だれでもトイレ

車いす使用者やお子様連れなど、さまざまな使用者に対応できる設備を完備。大人も利用できる多目的シートも設置している。



キッズトイレ 洗面・小便器コーナー



キッズトイレには、幼児用小便器とマルチシンクを設置。小便器は、使用中の身体を保持できるグリップ付きを採用し、足元には尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアPUを設置している。



キッズトイレ 大便器ブース



大便器は、軽い力で洗浄操作ができる長尺ハンドル式を採用。さらに、見守りができるようにブースの扉を低く設定し、ブース外には、着替えができるようにフィッティングボードを設置している。



トイレ図面

大型バスを受け入れても、混雑にしないように配慮された器具数を検討。さらに、さまざまな利用者を想定し、お子様連れ配慮の充実や、多機能トイレのバリエーションを増やすなど機能的なトイレを実現している。

水まわりの特長

建物の特徴

沖縄本島の中央部に位置するリゾートエリア「恩納村」。青い海に突出した絶壁と広大な芝生からなる『万座毛』は、東シナ海の絶景を見られる場所として人気のスポット。『万座毛』には、観光客受け入れ体制の課題があり、旧施設では、トイレ目的での利用が多い中、暗い・臭い・汚いといった苦情も多くあった。そこで建物全体を見直し、『万座毛周辺活性化施設』を建設。トイレの整備はもとより、さらに歴史・文化・自然を活かした魅力を紹介することで、多くの方の利用、交流人口を倍増させ、恩納村の観光拠点として、村民やお客様が憩い、集える施設となった。何度でも訪れたくなる万座毛を実現し、雇用拡充・地元農水産物の活用などにより地域活性化に資することを目的としている。

水まわりの特長

数年前より大型クルーズ船による観光ルートの一部となるなど、海外からの来訪も多く、今回の計画では訪日観光客への配慮を充実。和式便器からすべて洋式便器に変更し、5ヶ国語表示もされた。外国人(台湾)のブライダル撮影スポットにも選ばれることから、ウェディングドレスに着替えができるようにフィッティングボードを設置、またパウダーコーナーは使い勝手とともに空間デザインにこだわった。さらに多くの家族利用を想定し、授乳室やキッズコーナーも充実させている。左右手のバリエーションをもたせた「だれでもトイレ」を設置。加えてバリアフリー法にあわせた機能分散を実行すべく、一般トイレ内にオストメイト設備を設けるなど、多くの配慮が詰めこまれたトイレ施設が完成した。

建築概要

名称	万座毛(まんざもう)周辺活性化施設
所在地	沖縄県恩納村字恩納2767
施主	恩納村役場
設計	建築 有限会社名工企画設計 設備 有限会社 カイ設備
施工	株式会社東開発・株式会社司建設 建設工事共同企業体
竣工年月	2020年9月
敷地面積	9,997.07㎡
建築面積	1,898.42㎡
延床面積	2,971.51㎡
構造・階数	鉄骨造・地上3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494系
ウォシュレットアブリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840PR
スベア付紙巻器(かぎ付き):YH150 R/L S
柵付二連紙巻器:YH702
チャームボックス(汚物入れ):YKB102
自動洗浄小便器:UFS900JCS
ハイドロセラ・フロアPU:AB690BR
洗面器:LS703、L710C
壁掛ハイバック洗面器:LSC135AA
台付自動水栓:TENA12AL
壁付自動水栓:TENA125AW
クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
コンパクトオストメイトパック:UAS81LDB2NW
収納式多目的シート:EWC520BR系
幼児用大便器:CS300B
幼児用小便器:U310GY
幼児用マルチシンク:SKL300系
ベビーチェア:YKA15系、YKA16系
フィッティングボード:YKA41系
パブリック用手すり:T113BU22、T113BL10、T113HK7R